



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 375

Oktober 2022

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE  
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN



## クリスマス祝賀会のお知らせ

今年は恒例のクリスマス祝賀会を3年ぶりに開催します。

神戸日独協会が特定非営利活動(NPO)法人の認定を受けて20周年になりますので、その記念行事として、第一部はドイツ総領事による「ドイツ時局講演会」、第二部は「祝賀会」の二部構成で行います。

クリスマス祝賀会は、神戸日独協会の最も伝統ある重要な行事の一つです。多くの会員にご参加をいただき、対面による会員相互の交流がコロナ禍で長い間できませんでしたので、楽しい懇談の一夜を過ごしていただきたく、ご案内いたします。

### ドイツ総領事による「ドイツ時局特別講演会」

ロシアのウクライナ侵攻により世界的にエネルギー危機が生じ、それに伴う諸物価の高騰とインフレで日本をはじめ各国は経済・社会的な危機に陥っています。特にドイツはこの冬のエネルギー危機度は高く、天然ガスの代替方策、火力発電依存の強化や原子力発電所の復活、諸物価の抑制をはじめ様々な政策が報じられています。日本も共通の問題を抱えていますので、このご講演を通して経済・社会的に厳しさが予測されているこの冬を乗り切る理解を持ちたいと思います。

公開講演会ですので、会員外の方もご参加ください。

講演者：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 マルティン・エバーツ氏

講演内容：ロシアのウクライナ侵攻後のドイツにおけるエネルギー危機、  
諸物価の高騰とインフレ傾向の現状と政策について(通訳付き)

日時：2022年12月4日(日)16:00~17:00(受付は15:45から)

会場：神戸倶楽部(Kobe Club)(神戸市中央区北野町4-15-1)

定員：50名(定員になり次第締め切ります)

申込：参加無料、事前申込制

神戸日独協会へ平日14~17:00にTEL/FAX.078-230-8150あるいはメール  
[info@jdg-kobe.org](mailto:info@jdg-kobe.org)にて11月30日(水)までにお申込みください。

# 祝 賀 会

祝賀会では次郎丸智希理事のご主導によりクリスマスソングを参加者で合唱をしてクリスマスのお祝いをし、お楽しみ抽選会も行う予定です。美味しいお食事や会員との懇談を楽しみ、クリスマスを会員みんなで祝賀しましょう！一般の方のご参加もお待ちしています。

日 時： 2022年12月4日(日)17:30~20:00(受付17:15~)

会 場： 神戸倶楽部

会 費： 会員(及び同伴者)7000円 一般7500円  
(着席コース料理、乾杯以外の飲物は各自払い)

定 員： 60名(定員になり次第締め切ります)

申 込： 事前申込制

神戸日独協会へ平日14~17:00に TEL/FAX.078-230-8150あるいはメール  
info@jdg-kobe.org にて 11月30日(水)までにお申込みください。

☆ 感染予防のため、講演中及び飲食以外の時にはマスクの着用をお願いいたします。

## 主催行事報告



### オクトーバーフェスト in 神戸2022に参加して

会員 清水裕子

2022年10月15日(土)に、恒例の行事の「ビアフェスト」が3年ぶりに「オクトーバーフェスト in 神戸 2022」として開催されました。

マルティン・エバーツ総領事ご夫妻をはじめとして約60名もの参加があり、コロナ以前のにぎやかなイベントが帰ってきたように思います。

アコーディオンの平野さんと歌の岩島さんのビアソングやカウベルの演奏が、オクトーバーフェストの場を盛り上げて、本場ミュンヘンよりも伝統的なビアソングを参加者の皆様に楽しんでいただけたと思います。

歌詞集にも書かれていましたが、神戸日独協会のビアフェストは昭和30年代からドイツ好きの方々が集まって、ビールを飲みながらビアソングを楽しんだのが始まりで、1990年の通称「花博」で黒崎勇元会長が尽力されてアサヒビールの Bierzelt(大テント)にミュンヘンの民俗酒場 Platzl am Platzl の出演者や楽団やウェイトレスを招き、本場ミュンヘンの「オクトーバーフェスト」の再現が行われたそうです。現在日本各地での「オクトーバーフェスト」の原形である「アヒルのダンス」や「ムカデの行進」など日本独自の演出などは、黒崎元会長の功績に因るものが大きいと改めて感じました。

今回、皆さんが乾杯に使用したビアグラスは会員の栞田節子さんが Ein Prosit der Gemütlichkeit と焼き付けてくださった手作りです。その他にもマスクを寄附いただいた赤松加奈子さんら会員の皆さんが自ら交流の輪を広げていく、神戸日独協会ならではのイベントになったと思います。

## 会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第3水曜までに事務局へ)

### イエナ便り —新学期を迎えて—

会員 竹中ららら(イエナ在住)

ドイツ語では10月のことを goldener Oktober と呼ぶことがあります。実際にドイツでは日本よりも一足早い紅葉が始まり、鮮やかな色の木々を見て楽しむことができます。

特に Perückensträucher(黄櫨木)という低木が真っ赤に染まっているのが美しく目を引きま

す。大学では冬セメスターが開始し、多くの新入生が入学してきました。私は国際事務局が主催する Info Café という新入生ためのカフェで半月程、ワークショップやプレゼンテーションなどを担当する仕事をしました。入学手続き、保険、ビザ、住居探しなど新入生が助けを必要とする分野についてサポートをしました。外国からの留学生がカフェを訪れることが多く、様々な国や地域からの学生と会話することは私にとってこの仕事の楽しみの一つでした。

さて最近の日常生活で話題になるテーマは、ウクライナの戦争、ドイツのエネルギー供給、電気と物価の上昇です。今回はウクライナ情勢に関わって、私が経験したことや感じたことを書きます。現在イエナには多くの難民が避難してきており、仕事探しやドイツ語教育が課題となっています。私は小学校で教育実習をしており、ウクライナ語を話す子どもたちにドイツ語を教えています。授業内ではこちらの指示を大まかに理解できる子どもが多いのですが、話す・書く・読む分野で特別な言語的支援が必要なため、例えば授業時間内の取出し指導(別の教室で個別に授業を行う)、遊びを通じた放課後の活動、秋休みの間の講習で別個にドイツ語教育が施されています。これらは州や市が外部業者に委託して行っているもので、業者が授業などをオーガナイズして、アルバイトやボランティア形式で活動が行われています。授業で特に困難なのは、ドイツ語で指示を完全に通すことが不可能であったり、子ども同士がウクライナ語で話しているのをこちらが理解できないことです。また戦争難民という子どもたちの境遇にも十分な注意を払う必要があります。ある時、教材に「Er kommt aus Russland」という例文が出てきた時、子どもが「Nein! Er kommt aus der Ukraine!」と言った時にはどのように反応するのが適切か即座に判断ができませんでした。このような出来事は今後のドイツ語授業の大きな課題の一つとなってくると思います。

実際に現在の政治状況に関わって、当事者と接する際は自分で考えている以上に敏感になる必要があります。上述した Info Café で働いている際にも同様の経験をしました。ある日、ドイツ語は話せないが英語かロシア語なら分かるというアルバニア人の学生が質問に来ました。私は他の新入生の対応で手がふさがっていたため、ウクライナ出身のカフェで働く同級生に対応を任せようと思い「ロシア語は話すか」と聞いたところ「私はドイツ語か英語しか話さない」ときっぱりと断られました。後日その学生から、なぜそのような質問をしたのか訊ねられ、ロシア語は強制され学ばされた言語であり、話せるが話したくないのだと説明されました。

後から振り返り、当時の私は他人の境遇への十分な配慮が欠けていたと反省しました。そのような私は、もっとウクライナのことやさらにはロシアのことを知ろうと思い、この10月から大学でロシア語を学び始めました。そこで聞いたロシア出身の教員からの話については、また今後報告したいと思います。多様な地域的文化的背景をもつ人々と接する際に必要な能力を Internationale Kompetenz といいますが、経験を通してこの能力を鍛えていければと思います。

## ドイツ語談話室 第215回

日時：2022年9月17日(土) 14~16:00

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：秋に訪れたい所

今回の司会は松浦庸夫氏が担当され、秋に訪れたい所として、十和田湖から流れでる奥入瀬溪流の散策を紹介された。十和田湖は数拾万年前に発生した噴火によりカルデラが形成されて出来た湖で、最深部は300mを超える。この湖から流れ出る奥入瀬溪流は深い自然林に覆われて、風光明媚な東北の観光スポットとなっている。

以下に、参加者の皆さんのテーマに関する発言の一部を紹介する。

- 国内では、姫路の北、JR 寺前駅からバスで行ける、砥峰高原がお勧めのスポット。  
ここは秋のススキが一面に広がり絶景を醸し出す。  
海外では、スイス・ジュネーヴからバスで近いシャモニーがお勧め。多くのハイキングコースがあり、特にスイスとの国境・バルムの峠から振り返って眺めるモンブランとその谷は絶景。
- 京都の嵐山と高雄がお気に入りのスポット。  
また、同じく京都の日本庭園で、夜にライトアップされた庭も素敵だ。
- 富良野のお花畑、特にラベンダーの咲き誇るお花畑が素晴らしい。数種類の色彩に分かれて一面に咲き誇っているお花畑も見事。また、神戸にある森林植物園は、近くてお勧めの場所。
- 京都日本海側の宮津にある日本三景のひとつ、天橋立がお勧め。見事な松並木が素晴らしい。股のぞきでは、海と空が反転して、別の絶景を楽しめる。
- 岡山県瀬戸内側の、牛窓がお勧め。  
オリーブ園には見事なオリーブ林があり、夏には海水浴場としても人気がある。
- イタリア南部、ナポリから少し南の海岸沿いの街、アマルフィーの景色は、世界遺産にも登録されている絶景だ。  
その素晴らしい景色だけでなく、お料理も絶品ぞろいで、是非お勧めしたい所。
- 明石の朝霧海岸の眺めは落ち着いた雰囲気、朝の日の出も、夕方の日没もゆっくりと楽しめる。
- 日本人にとって、秋の色は赤を中心とした紅葉であるが、ヨーロッパでは明るい黄色でそれなりに映えるが、少し物足りなくも感じる。
- スイス・エメンタールのチューデルヒュッシからの眺めは、素晴らしいパノラマである。  
はるか南には、ベルナーオーバーランドの名峰、アイガー・メンヒ・ユンクフラウまでの遠望を満喫できる。

- お勧めは、山中温泉・山代温泉で古い町並みがじっくりくる。  
また、九頭竜川沿いの景色も美しく、秋には木々の紅葉を楽しめる。

### 今後のドイツ語談話室の予定

- 第216回 2022年10月15日(土) 14-16時 テーマ : お気に入りの食べ物  
第217回 2022年11月19日(土) 14-16時 テーマ : 人生を変えた本や事柄

## Protokoll der 215. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 17. September, 2022, 14 bis 16 Uhr.

Thema: Mein Lieblingsort im Herbst

Dieses Mal hatte Herr Tsuneo Matsuura die Gesprächsleitung und sprach über den Oirase- Bergbach, der aus dem Towada-See herausfließt. Der See bildete sich vor mehreren hunderttausend Jahren in einem durch Vulkanausbruch entstandenen Krater, einer Caldera. Er ist über 300 m tief. Den Bergbach umgibt tiefer Naturwald. Das Gebiet gilt als landschaftlich besonders schöne Region in Tohoku.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema :

-Das Tonomine-Plateau, nördlich von Himeji, ist für einen Besuch besonders zu empfehlen. Im Herbst ist das ganze Plateau mit Susuki-Gräsern bedeckt, was einen herrlichen Anblick ergibt. Man kommt dorthin mit dem Bus vom JR- Bahnhof Teramae aus.

- Chamonix ist ein wunderbarer Ort. Es ist mit dem Bus von Genf aus unschwer zu erreichen. Dort gibt es zahlreiche Wanderwege. Vom Col de Balme, der Grenze zwischen der Schweiz und Frankreich, erstreckt sich vor einem ein wunderbares Panorama über das Chamonix-Tal und den Mont-Blanc.

-Arashiyama und Takao in Kyoto sind auf jeden Fall einen Besuch wert. Die japanischen Gärten dort werden bei Nacht prachtvoll beleuchtet.

-Die Blumengärten in Furano mit ihrem blühenden Lavendel sind wunderbar. Es finden sich dort auch noch andere farbenreiche Blumengärten.

Der botanische Garten von Kobe liegt hier ganz in der Nähe und ist ebenso sehr empfehlenswert.

-Amanohashidate, an der Küste von Nord-Kyoto, gilt mit seinen Kiefern als eine der drei schönsten Natursehenswürdigkeiten in Japan. Es gibt dort auch den Brauch, gebückt mit dem Blick zwischen die eigenen Beine hindurch die Landschaft quasi auf dem Kopf stehend zu betrachten.

-Ushimado, liegt an der Küste im Süden von Okayama. Dort gibt es schöne Olivengärten und im Sommer viele beliebte Badestrände.

-Amalfie im Süden von Neapel ist Weltkulturerbe und beeindruckt nicht nur durch die Landschaft, sondern auch durch das herrliche Essen, das man dort bekommen kann.

-Der Sonnenauf- und -untergang an der Küste Asagiri in Akashi lässt einen seinen Stress vergessen.

-In Japan gilt die hochrote Farbe von Blättern als repräsentativ für den Herbst. In Europa scheint hingegen ein Gelb zu dominieren, dem es, mit japanischen Augen gesehen, etwas an Impact fehlt.

-In Chuderhüsi, in Emmental, hat man ein wunderbares Panorama. In der Ferne sieht man gegen Süden hin die berühmten Spitzen des Berner Oberlands, den Eiger, den Mönch, und die Jungfrau.

-Empfehlenswerte Thermen in Hokuriku sind Yamanaka-Onsen und Yamashiro-Onsen. Beide sind sehr alt, und die Straßen still und gemütlich. Die Landschaft entlang des Flusses Kuzuryu zeigt sich im Herbst in besonders schöner Färbung.

### **Nächste Treffen**

Samstag, 15. Oktober 2022, 14 bis 16 Uhr, Thema: Meine Lieblingsspeise

Samstag, 19. November 2022, 14 bis 16 Uhr, Thema: Ein Buch oder sonst eine Sache, die mein Leben verändert hat.

### **Stammtisch mit Zoom**

## **11月の Stammtisch mit Zoom のお知らせ**

日 時: 2022年11月19日(土)10~11:00

話題提供: 神戸日独協会会員 平木 ひろみ さん「ドイツ、あれこれ」

紹 介: ドイツに滞在中(1989年3月から1995年1月)に体験したことを中心に、Volkshochschule でドイツ語講座に参加した時のことも少し交えながら話してもらいます。

☆ 対面参加を希望される方は、神戸日独協会会議室へお出ください。

### **神戸日独協会 Stammtisch mit ZOOM**

<https://us02web.zoom.us/j/85366355191?pwd=N05kSTl1bIVkYkNqc2kvQmd5VjlpQT09>

ミーティングID: 853 6635 5191 パスコード: 393924

## **11月の Stammtisch mit Wein**

日 時: 2022年11月19日(土)17:30~19:30

場 所: 神戸日独協会会議室

話 題: 私のワインの思い出

★出席いただける方は、電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

## 11月の月例懇談会開催のお知らせ

月例会は11月より「月例懇談会」として開催します。この会は協会と会員間の交流のための懇談会です。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。

日時：2022年11月19日(土)16:10～17:15

場所：神戸日独協会会議室

話題：2022年度下半期開催行事の企画、広報活動の拡充など

ご出席いただける方は、電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

### 事務室からのお知らせ

#### 新会員紹介(敬称略)

個人準会員 世木 隆志 赤松 加奈子

学生会員 早川 りさ

#### 事務室開室の変更

4月より事務室の開室時間を変更しました：平日14～17:00

#### 会報印刷・発送ボランティア募集

9月より会報の印刷・発行日を毎月第4月曜日に変更しています。掲載記事は毎月第3水曜日までをお願いします。

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。印刷は会長と会員の二名で行っています。是非ともお手伝いをお願いします。9月より会報の印刷と発行の日が変更になりました。

次回の印刷と発送は11月28日(月)を予定しています。お手伝いいただける方は事前にご連絡ください(TEL 078-230-8150)。

印刷：兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送：神戸日独協会にて、12:30～

☆ 今月号は編集の都合で、発行を一週間延期しました。お詫び申し上げます。

## これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
11月19日(土) 10:00~11:00	Stammtisch mit Zoom	神戸日独協会会議室	当日参加可
11月19日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
11月19日(土) 16:10~17:15	月例懇談会	神戸日独協会会議室	当日参加可
11月19日(土) 17:30~19:30	Stammtisch mit Wein	神戸日独協会会議室	当日参加可
12月 4日(土) 16:00~17:00	ドイツ総領事の時局講演会	神戸倶楽部	11月30日(水)
12月 4日(土) 17:30~20:00	クリスマス祝賀会	神戸倶楽部	11月30日(水)